

伝統をアップデートする 経営の視点と地域発産業の未来



蕨酒蔵(長野)×わしの尾(岩手) 2つの酒蔵の地域ブランド戦略に学ぶ

長野県松本市の地域拠点「サザンガク」と岩手大学イーハトーヴ協創ラボ「TOVLAB」がコラボし、伝統をアップデートし続ける酒蔵経営をケーススタディに、事業承継、ブランド構築、地域連携の“今”を語り合います。地域・業種の枠を超え、明日からの経営を豊かにする視点を見つける2時間です。

03.13

金 17:00~19:00

登壇者

蕨酒蔵

佐藤 圭祐 氏

老舗酒造を事業承継し、長野県北安曇郡松川村で2024年に始動した新しい酒蔵です。元「大信州」の杜氏・田中勝巳氏が醸造責任者を務め、北アルプスの超軟水と地元産の高品質な米を使用し、瑞々しくも奥深い味わいを持つ「蕨(いらか)」を醸造。IWC2025でゴールドメダルを受賞するなど、高い評価を得ています。



株式会社わしの尾 工藤 朋氏

岩手山の伏流水と地元の酒米を使用し、99%以上が県内で消費される「究極の地酒」を造る老舗酒蔵です。看板商品の「釐の尾」は、すっきりとした口当たりで飲み飽きしない、地元へ愛され続ける食中酒として知られ、県外では入手困難な「幻の地酒」とも称されます。



会場

岩手大学
コワーキングスペースTOVLAB
(岩手県盛岡市上田三丁目18-34 中央食堂2階)

またはオンライン (zoom)

参加費

無料 ※文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」からの補助に基づく特別価格です。

備考

会場では両蔵商品の試飲あり

コメンテーター

国分東北株式会社

第1部 | 両蔵の紹介・実践共有 (17:00~17:40)

長野・岩手それぞれの地で、伝統をいかに次世代へ繋ぐか。ブランド刷新を断行した蕨酒蔵、地域密着を貫くわしの尾。対極的とも言える両者の歩みから、事業承継の葛藤や経営改革の本質、地域資源を価値に変えるヒントを学びます。

第2部 | クロストーク (17:50~18:40)

酒造2社に流通のプロ(国分東北)を交え、業種の枠を超えた経営戦略を深掘りします。消費市場の変化をどう捉え、地域内あるいは他地域や海外とどう繋がるのか。モデレーターと共に、地域企業が持続的に成長するための「次の一手」を導き出します。

第3部 | 参加者との質疑応答 (18:40~19:00)

こんな方におすすめ!

- ✓ 地域産業のブランド戦略や経営革新の実例を学びたい方
- ✓ 自社の強みの活かし方や市場展開に課題を感じている方
- ✓ 同他地域の企業との対話から新たな視点を得たい方

お申し込みは
こちら!

